



花が輝くとき

たけふ菊人形40回記念誌



ひらめきと決断から
…あゆみ…



▲菊をながめる尾崎元市長（故人）

後二、三年は武生市にとつて暗い苦しい時代でした。明るく楽しい町にしたいという願いは、市民の求めていたところです。

こうした中で、たまたま全国市議会議長会に出席した当時の市議会副議長陰山真氏が、偶然枚方市議會議長の大西助太郎氏と同席になり、観光事業の話に花が咲いたのです。

大西氏は枚方菊人形のスタッフであり、毎年枚方菊人形の菊人形館制作を担当していま

うヒントを得た蔭山氏は帰路綾部市立ち寄り

した。

大西氏から「菊人形をやってみては」とい



▲昭和30年代の菊人形会場

あつたところを埋め立てた急造地であつたために、夏になるとススキや雑草が生い茂り、背たけ以上に伸び放題、夏虫やヘビのねぐらになつてゐたのです。とうてい五人や十人の手に負える代物ではありませんでした。この草刈り奉仕をするのが市職員の年中行事でした。

土曜日の午後等を利用して一列に並んでむせかえるような草を相手に一斉に鎌をふるいました。この作業は十年近くも続いたのではないかでしょうか。

草刈りを終えて、さっぱりした会場を見渡し、やがて秋の近いのを感じるのでした。

情熱を深めて帰武しました。早速尾崎市長や議会に対し熱っぽく働きかけたのです。もともと、武生市は昔から菊づくりが盛んで、園芸クラブ、秋香会、国華会、菊友会といつた菊づくり名人たちのグループがあり、秋には寺院の境内でそれぞれ丹精した自慢の菊を展示し技を競っていたのです。

蔭山氏から相談を受けた尾崎市長は、ジャーナリスト出身者だけに、ひらめきも決断も早かったのです。

西公園（現在の中央公園）の間借りで始
サインが出ました。

もちろん、都市公園内には建ぺい率があり、余分な永久建築物は建ててはならないという規制があったせいでもありました。その上、一面水田（一坪五百円で買収）であつたところを埋め立てた急造地であつたために、夏になるとススキや雑草が生い茂り、背たけ以上に伸び放題、夏虫やへびのねぐらになっていたのです。とうてい五人や十人の手に負える代物ではありませんでした。この草刈り奉仕をするのが市職員の年中行事でした。

土曜日の午後等を利用して一列に並んでむせかえるような草を相手に一斉に鎌をふるいました。この作業は十年近くも続いたのはないでしょうか。

草刈りを終えて、さっぱりした会場を見渡し、やがて秋の近いのを感じるのでした。

菊人形前史 技術集団創生記 伝統の菊づくり

宣伝の変遷 ポンネットバスの宣伝力一から メディア時代へ ミス菊人形の歴史

菊人形館 覚えてますか 懐かしいあの場面

先人の発想が生きる

たけふ菊人形は、昭和27年に始まりました。

当時、枚方市をはじめ明石市・名古屋市・綾部市など全国の数個所のまちで菊人形展が行われていましたが、北陸では初めてのことでした。

戦争の痛手が残っていた当時、尾崎稻穂市長（故人）は、町の活性化と観光物による産業を生み出すため、特色ある観光事業の核として、菊人形を打ち出したのです。経済的にもまちの状況からも厳しい中、菊人形事業は尾崎市長の英断と市民の協力で始まったのです。

高度経済成長を遂げ、物質的な豊かさを手中にした現在、全国三千を超える地方公共団体は、まちのイメージアップとして観光事業に力を注いでいます。

武生市におきましては、先人のすばらしい発想を40年の歴史を重ねる中で、「菊トピア」として進化させ、まちづくりを進めているところです。

「菊トピア」の原点とも言うべき、菊人形の歩みを武生市の歴史の一冊として記録に留めるため、ここに刊行いたします。

平成3年10月

武生市長 小泉剛康

先人の発想が生きる……………武生市長 小泉剛康
ひらめきと決断から

印刷媒体物

たどる…入場券・ポスター
パンフレット

イベントの歴史

プレーランド・大劇場・物産館
撮影会・サイン会 etc

よしやま話&DATA

菊人形ができるまで
アツと驚く菊の効用
菊人形誕生秘話

インタビュー 菊花同好会長 山口 一

30

4

七
二
三

入場券・ポスター・パンフレット

菊人形の宣伝に欠かせないボスター やパンフレット、入場券の印刷物を時代ごとにたどってみました。

パンフレット一つとってもみてても表紙に細工を施し水族館に似せたものや、写真コンテストの優秀作品をポスターに使つたりと工夫を凝らし、時代を感じさせない、斬新なデザインも多くあります。



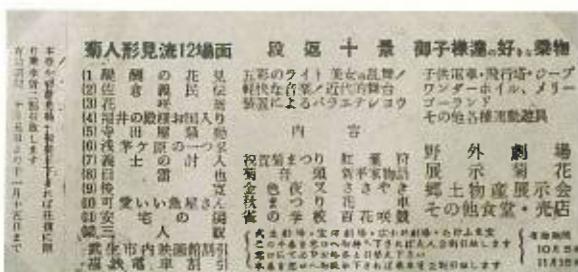
▲入場券(原寸大)



◆パンフレット



▲入場券



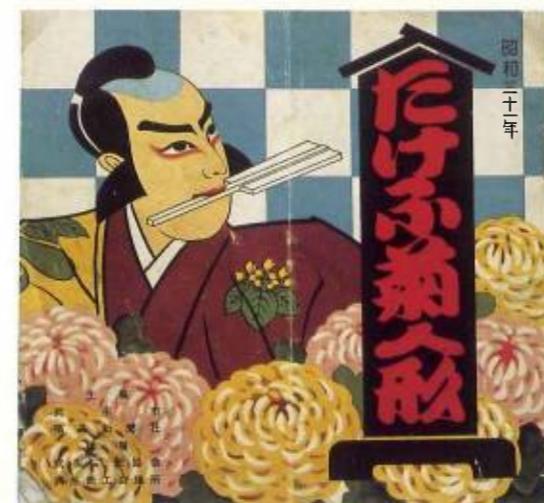
第6回 昭和32年
(1957)



△パンフレット



▲入場券 ▼パンフレット



三



▲パンフレット

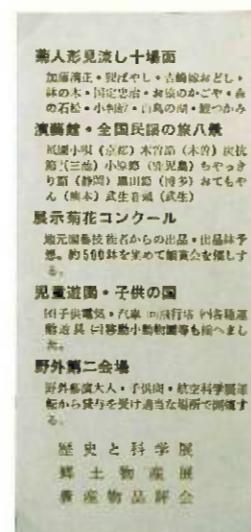


▲入場券



▼ポスター

第4回 昭和30年 (1955)



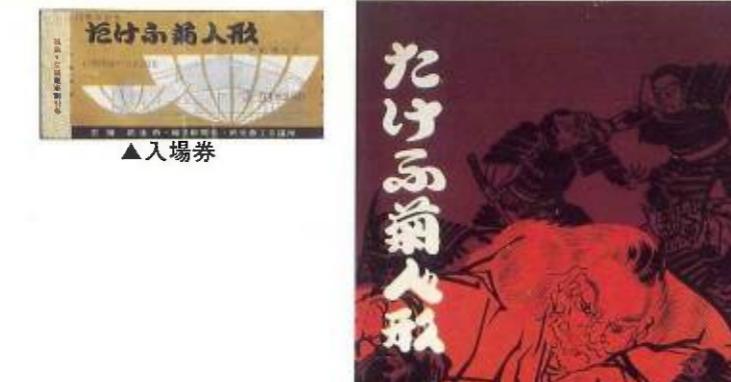
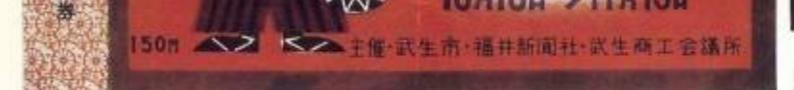
▼入場券



第3回 昭和29年 (1954)

たけふ

入場券・ポスター・パンフレット

<p>第10回 昭和36年(1961)</p>  <p>▼パンフレット</p>	<p>第9回 昭和35年(1960)</p>  <p>△入場券</p>	<p>第8回 昭和34年(1959)</p>  <p>△入場券</p>	<p>第7回 昭和33年(1958)</p>  <p>△入場券</p>
<p>第11回 昭和37年(1962)</p>  <p>△パンフレット ▲入場券</p>	 <p>△パンフレット ▼入場券</p>	 <p>▼パンフレット</p>	 <p>△パンフレット ▼入場券</p>
<p>第16回 昭和42年(1967)</p>  <p>△入場券</p>	<p>第15回 昭和41年(1966)</p>  <p>▼ポスター</p>	<p>第13回 昭和39年(1964)</p>  <p>△入場券</p>	<p>第12回 昭和38年(1967)</p>  <p>△パンフレット ▼入場券</p>
 <p>△パンフレット ▼ポスター</p>	 <p>△ポスター</p>	 <p>△入場券</p>	 <p>△パンフレット ▼入場券</p>
<p>第14回 昭和40年(1965)</p>  <p>△入場券</p>	 <p>△入場券</p>		

たけふ菊人形

入場券・ポスター・パンフレット

第22回 昭和48年(1973)	第21回 昭和47年(1972)	第20回 昭和46年(1971)	第19回 昭和45年(1970)	第18回 昭和44年(1969)	第17回 昭和43年(1968)
					
▲ポスター ▼パンフと入場券	▲パンフと入場券 ▼ポスター	DISCOVER JAPAN	太閤記 大劇場 梦のバラエティー	▲ポスター ▼入場券	10月4日～11月10日 大劇場 グランドレビュー'68「日本の幻想」
					
第28回 昭和54年(1979)	第27回 昭和53年(1978)	第26回 昭和52年(1977)	第25回 昭和51年(1976)	第24回 昭和50年(1975)	第23回 昭和49年(1974)
					
▲ポスター ▼パンフと入場券	▲パンフと入場券 ▼ポスター	10月5日～11月10日 東京公演 松竹歌劇団 公演	▲ポスター ▼パンフと入場券	見流館 円堂の舞祭 NHK放送中 大劇場 秋の踊り 松竹歌舞团 松竹公演	▲ポスター ▼パンフと入場券
					

たけふ

入場券・ポスター・パンフレット

第34回 昭和60年
(1985)



▲ポスター ▼パンフと入場券

第33回 昭和59年
(1984)



▲パンフと入場券 ▼ポスター

第32回 昭和58年
(1983)



▲ポスター ▼パンフと入場券

第31回 昭和57年
(1982)



▲ポスター ▼パンフと入場券

第30回 昭和56年
(1981)



▲パンフと入場券 ▼ポスター

第29回 昭和55年
(1980)



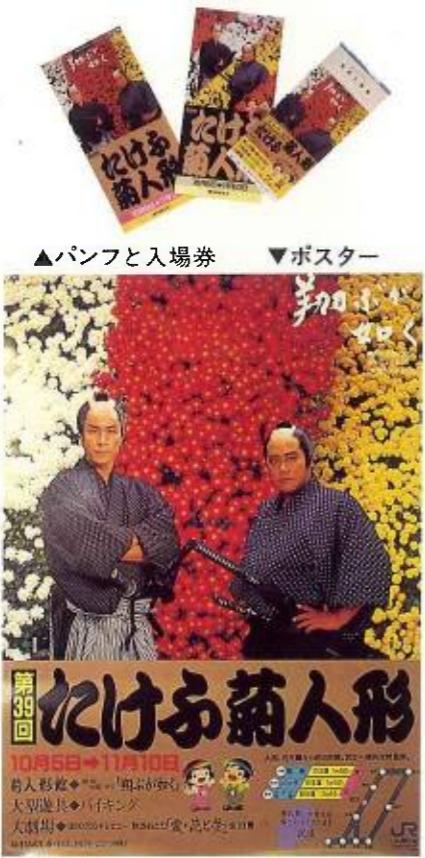
▲ポスター ▼パンフと入場券

第40回 平成3年
(1991)



▲ポスター ▼パンフと入場券

第39回 平成2年
(1990)



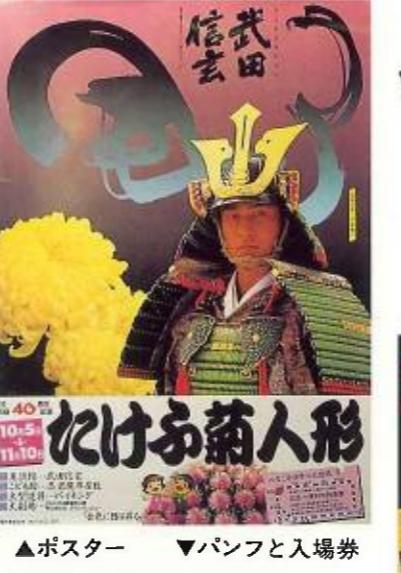
▲パンフと入場券 ▼ポスター

第38回 平成元年
(1989)



▲ポスター ▼パンフと入場券

第37回 昭和63年
(1988)



▲ポスター ▼パンフと入場券

第36回 昭和62年
(1987)



▲パンフと入場券 ▼ポスター

第35回 昭和61年
(1986)



▲ポスター ▼パンフと入場券



幼い頃、この飛行機に
飛った人も多いはず



昭和43年



昭和31年



ブランコ・すべり台が大人気 昭和28年



すべり台 ブランコ

か
く
ら

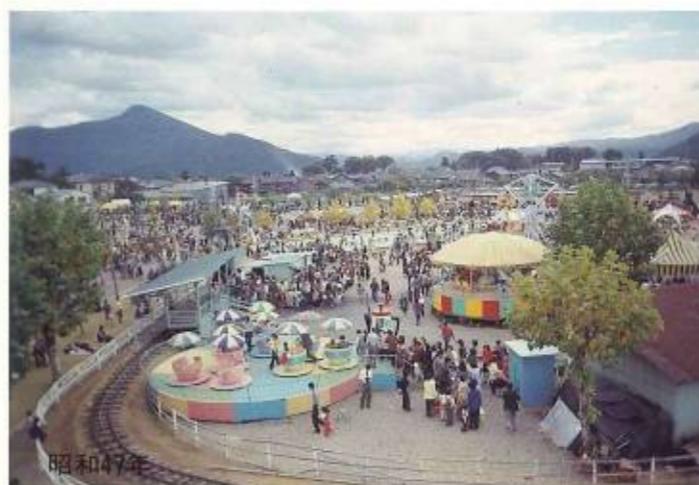
仰
ま
で
ぐ
く
う
天



▲当時はこれがハイテク遊具？ 昭和37年



▲着物で菊人形に来る女性も多くいました。



昭和47年



昭和41年



昭和44年



昭和38年

**ブレー
ラン
ド**
昭和二七年の第一回目から、子供たちに楽しんでもらうための遊園地が、菊人形の中心会場（現在と同じ）の第一会場内（約三千坪）に、整備されました。
「たけふ弘報」によると、



昭和27年・こどもジープ

夢のような子供の天国 児童遊園地”と称して、飛行機、子供電車（電気汽車）、オートバイ競技、吊り下げ回転具、トンネルくぐりすべり台、ローラー式すべり台、回転式すべり台、三連シーソーが紹介されていますが、多くは、電気を使わない運動遊具でした。
昭和三十年代前半には、回転ジープやワンドーホイル（ミニ観覧車）、ロマンスウェーバー、メリーゴーランドなどの自動遊具が登場しました。
三十年代後半になると、さらにチャーチタワーやムーンロケット、ゴーカートなど、機械的な遊具が主流になりました。



アクロバットも登上 昭和46年



ダンサーの衣裳も華やかに……
昭和43年

芸能館と呼ぶにふさわしい芸能をするようになったのは、第二回から。雲井八重子一座が、段返しの舞台に合わせた「全国民謡の旅」を披露しました。県外の芸能一座と段返しの取り合はせは、昭和三二年まで続きました。

少女歌舞伎や演劇(レビューショー)は人気を呼び、三六年には一〇回を記念して、当時北陸一の規模と舞台設備で評判になった、現在の大劇場が完成しました。

大阪歌劇団、SKD(ピータークラブ)、東宝ダンサーズ、松旭斎広子一行(奇術)、おたまじやくし(ぬいぐるみ人形劇)、オーロラ・オン・アイスなどの一行が、大劇場でショーを繰り広げました。

大劇場 (芸能館)
段返し・助六から
OSKラインダンスまで

菊人形が始まった当初、見流館(現在の菊人形館)と話題を二分したのが芸能館の段返しでした。

段返しは、いくつかの菊人形を取り入れた場面が、上下左右から代る代る出てくる仕組みで、段返しの幕合いで漫才や謡曲、芸人の手踊りなどの余興を披露する、現在の大劇場と菊人形館をミックスしたようなものでした。第一回のときの幕合いに行なった芸芸は、お茶を濁す程度でしたが、娯楽が少なく、テレビも今のように普及していないかった当時、観光客や市民の人気を集めました。

県外の芸能一座と段返しの取り合はせは、昭和三二年まで続きました。

少女歌舞伎や演劇(レビューショー)は人気を呼び、三六年には一〇回を記念して、当時北陸一の規模と舞台設備で評判になった、現在の大劇場が完成しました。



第三回目には演芸も充実
昭和29年



昭和33年



観光客の大型でバラエティーに富んだ遊具志向と、他の遊園地との競合から、五十年にはアストロファイターが、五一年には、モノレールカーとクレジーカーが、そして五三年には大観覧車を新設しました。また、リースや委託による遊具充実も始めました。

現在菊人形で人気のあるジャングルコースターは五六年に、バイキングは六一年に新設しました。

今年は、菊人形四〇回を記念して、「仰天」が登場しました。

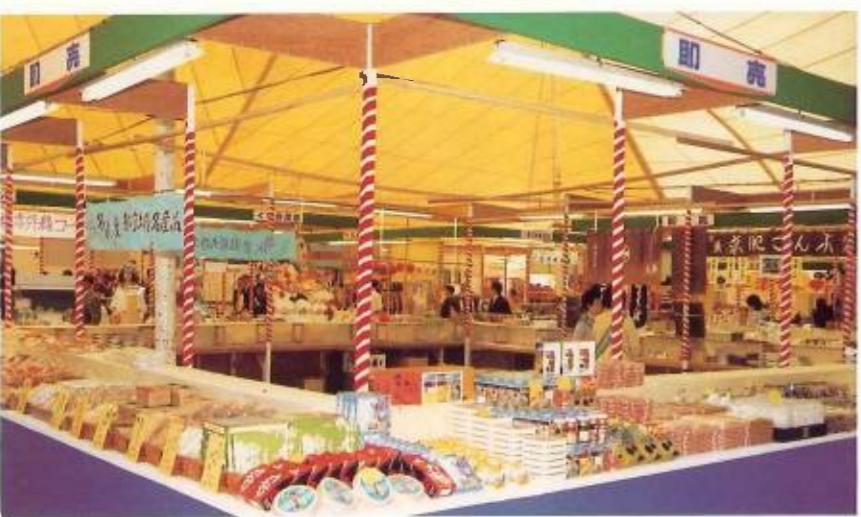


観光につきもの 武生のおみやげ 特産品を展示即売

展示してある物産も様々。工業製品もいろいろと。



大型テントでの産業パビリオン
昭和62年



- *タバコ吸いあてコンクール
- *民芸品展示会
- *工芸祝菓子展示会
- 四九年*野点(日・祝日)
- 四八年*錦鯉展示会
- 四二年*焼物コーナー
- 三八年*モンキーハウス
- 三六年*大パノラマ日光展(日光東照宮などの国宝建築物を、模型で再現)

- *大宝くじ
- *バラ園
- *北陸三県菊花コンクール始まる
- 三五年*サボテン展示会
- *自衛隊武器写真展
- 三三年*ラジオ福井公開録音「歌う快速列車」
- 三一年*武生菊花同好会菊花コンクール始まる
- *菊まつり
- 二九年*陶器展



工夫いろいろ 多彩な催しもの

昭和二七年、「郷土物産展示会」として、菊人形会場横のあった武生工芸指導所(工業試験場の前進)で行いました。

した。武生、丹生、今立、南条郡下の物産を県内外に宣伝する、販路拡大が主な目的で、会期も一月一日から一

五日だけでした。会場が狭かったこ

ともあり、公会堂で開いたこともありました。

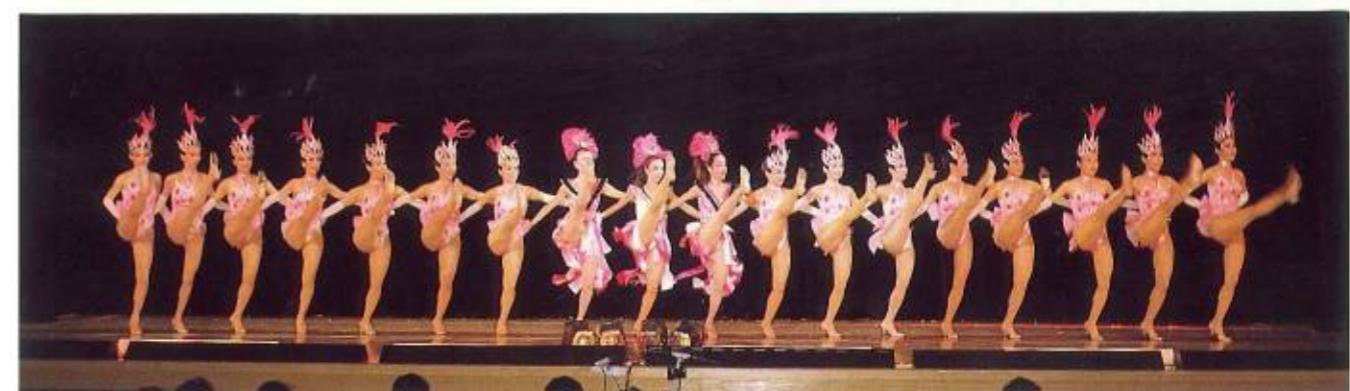
現在のように、物産館として会場に設けたのは三〇年からで、翌年度には、物産館にも約十万人が入館しました。パビリオンになったのは、五六六年です。友好都市高山市の物産展や日中友好協会による中国の物産展も行い、年々にぎやかになっています。



昭和63年



日本魔術団 昭和54年



OSKの華 ラインダンス 平成2年



野外劇場今・昔
昭和35年



昭和57年

芸能館は、大劇場完成後も四年まで、一時途絶えたものの野外ステージと共に、漫才や歌謡ショー、曲大鼓、地元芸能などで観客を楽しめました。現在の野外ステージは、四五年に跨りました。

野外劇場(ステージ)

第二回に設けられた野外劇場。当初は、芸能内容もお粗末なものでしたが、三回、四回目あたりから芸能館とは違った、笑いや気軽な雰囲気の芸能路線を歩みました。

現在の野外ステージは、四五年に跨ったものです。

寒さに負けず一番乗り

(昭和二九年)

菊人形第二回、三回と一番乗りした人は、丹生郡宮崎村の近藤幸雄さん(当時二十四歳)。

朝五時に起き、自転車で会場に着いたのが六時。開場時間の九時まで門前でがんばっていましたが、肌に食い込むような秋の寒気に入りました。近藤さんは、今大阪に住んでいますが、当時の感想などを聞きました。

「あこのころは地方に大きな催事がなかつたこともあって、菊人形は毎年楽しみにしていました。今は家内(真子さん)が孫を連れて毎年行っています。孫の写っている会場をみると、昔とはずいぶん変わっているのでびっくりします。

こちらでは近くに枚方菊人形が開催されていますので、時々行つて、武生の菊人形を懐かしんでいます。

アドバルーンに捜索願い
(昭和三十一年)
武生市役所屋上に掲げられていました、「たけふ菊人形」宣伝のアドバルーンがおりからの突風でロープが切れ、南の方へ飛んでしまいました。市では直ちに武生署へ捜索願いを出したそうです。ちなみにアドバルーンの損害額は当時のお金で三万円だったそうです。

アドバルーンに捜索願い
(昭和三十一年)
武生市役所屋上に掲げられていました、「たけふ菊人形」宣伝のアドバルーンがおりからの突風でロープが切れ、南の方へ飛んでしまいました。市では直ちに武生署へ捜索願いを出したそうです。ちなみにアドバルーンの損害額は当時のお金で三万円だったそうです。

案内嬢は苦労する嬢(ジョー?)
(昭和三十一年)
当時の見流館には、各場面を説明する案内嬢がいましたが、なかなか苦労をしていました。お客様の中の歴史の先生からはいろいろな質問をされたりして冷や汗かいたり、説明をするために長い列になつたり、それを避けるために説明をしないへんな苦労があつたようです。

「でも、説明している間、ウンウンとうなづいて聞いているお客さんを見ていると、やりがいのある仕事だなあと思いました。」とは、当時の案内嬢の弁。
「でも、説明している間、ウンウンとうなづいて聞いているお客さんを見ていると、やりがいのある仕事だなあと思いました。」とは、当時の案内嬢の弁。



菊人形ノイローゼ?
(昭和三五年)
いくら菊人形が好評を博しているといつても、気になるのはお天気。当時の森市長も天気のことが気になって、菊人形開催中は必ず夜中に二度も目を覚ますようになってしまったそうです。戸外の音がしていないとまた布団にもぐり込んで眠りについたそうです。



よもやま話

第26回～第30回

1977～1981

第26回 (昭和52年)

開催期間 10月5日～11月10日

入場者数 125,196人

入場料金 大人:700円 子供:350円 前売券:600円

第27回 (昭和53年) 市制30周年記念

開催期間 10月5日～11月10日

入場者数 120,850人

入場料金 大人:800円 子供:400円 前売券:700円

第28回 (昭和54年)

開催期間 10月5日～11月10日

入場者数 121,211人

入場料金 大人:800円 子供:400円 前売券:700円

第29回 (昭和55年)

開催期間 10月5日～11月10日

入場者数 100,646人

入場料金 大人:900円 子供:450円 前売券:800円

第30回 (昭和56年)

開催期間 10月5日～11月10日

入場者数 137,800人

入場料金 大人:1,000円 子供:500円 前売券:800円

第21回～第25回

1972～1976

第21回 (昭和47年)

開催期間 10月5日～11月10日

入場者数 100,646人

入場料金 大人:380円 子供:190円 前売券:350円

第22回 (昭和48年) 市制25周年記念

開催期間 10月15日～11月10日

入場者数 88,953人

入場料金 大人:400円 子供:200円 前売券:360円

第23回 (昭和49年)

開催期間 10月5日～11月10日

入場者数 112,198人

入場料金 大人:500円 子供:250円 前売券:430円

第24回 (昭和50年)

開催期間 10月5日～11月10日

入場者数 112,852人

入場料金 大人:600円 子供:300円 前売券:500円

第25回 (昭和51年)

開催期間 10月5日～11月10日

入場者数 117,159人

入場料金 大人:700円 子供:350円 前売券:600円

第16回～第20回

1967～1971

第16回 (昭和42年)

開催期間 10月5日～11月10日

入場者数 97,369人

入場料金 大人:260円 子供:130円 前売券:220円

第17回 (昭和43年)

開催期間 10月4日～11月10日

入場者数 81,237人

入場料金 大人:280円 子供:140円 前売券:250円

第18回 (昭和44年)

開催期間 10月5日～11月10日

入場者数 106,663人

入場料金 大人:280円 子供:140円 前売券:250円

第19回 (昭和45年)

開催期間 10月5日～11月10日

入場者数 97,497人

入場料金 大人:330円 子供:165円 前売券:300円

第20回 (昭和46年) 見流館新築

開催期間 10月5日～11月10日

入場者数 102,971人

入場料金 大人:330円 子供:165円 前売券:300円

第11回～第15回

1962～1966

第11回 (昭和37年)

開催期間 10月10日～11月15日

入場者数 114,311人

入場料金 大人:150円 子供:70円 前売券:120円

第12回 (昭和38年) 市制15周年記念

開催期間 10月10日～11月15日

入場者数 118,759人

入場料金 大人:180円 子供:90円 前売券:150円

第13回 (昭和39年)

開催期間 10月10日～11月15日

入場者数 109,522人

入場料金 大人:180円 子供:90円 前売券:150円

第14回 (昭和40年)

開催期間 10月10日～11月15日

入場者数 103,007人

入場料金 大人:200円 子供:100円 前売券:170円

第15回 (昭和41年)

開催期間 10月5日～11月10日

入場者数 107,598人

入場料金 大人:260円 子供:130円 前売券:220円

一月一六日午後一時半ごろ、市文化センター中ホール（菊人形大劇場）が屋根に積もった雪の重みで倒壊しました。

「ドーン」という大音響とともに崩れ去った大劇場。かまぼこ型の屋根が完全に抜け落ち内部から空が見え、残ったのは四方の壁だけとなりました。

しかし、十月の菊人形オーブン

までには内装なども充実して、無事お客様を迎えることができました。

日曜・祝日には一日平均二十人ぐらい。三歳以上から小学生低学年の子供が中心。泣きじやぐる純情型や、黙秘を決め込む反抗型のほか「お母さんを呼び出してください」と、親を捜すチャッカリ型も。



こぼれ話
アラカルト

(昭和五八年)



よもやま話



主不明の遺失物が五十点余り。ハンカチ、帽子、セータードは序の口、ベビーカー、バッグ、財布、水筒な片方など。どうしてこんなもの忘れるのでしょうかね。

菊人形ができるまで

菊人形は、裏方さんたちの力が一つになって完成するものです。まさに、裏方さんたちの苦労が、菊の花を咲かせるといえます。それでは、菊人形ができるまでの流れをご紹介しましょう。

人形師



園芸師

（骨格をつくる）
骨格をつくる一方、人形師の磨きのかかった腕は首を手がけます。男女の別、年齢差はもちろん、人形の性質や感情を表現するいわば魂を入れる繊細な作業です。



菊人形一体当たりの株数は

菊人形は生き物



人形師は鮮度を保つため、根付下絵をもとに人形づくりが始まっています。三・三センチ角の木で骨格を形どります。ただの木も人形師の手にかかるれば、血のかよった人間のように生まれ変わってきます。

（首をつくる）
骨格をつくる一方、人形師の磨きのかかった腕は首を手がけます。男女の別、年齢差はもちろん、人形の性質や感情を表現するいわば魂を入れる繊細な作業です。

菊師

（胴殻をつくる）
小菊には、早咲き、おそ咲きの二種類があります。栽培は、日照時間を使い、明るい時間を長びかせたりする方法で開花時期を調整します。

菊師

（栽培）
今年の菊人形のために、園芸師は昨年から菊づくりにかかりつけられています。一年中息をつく暇もありません。



（仕上げ）
首が付けられ、完成した人形が、それぞれ舞台に立ったとき、その精彩を放った姿は、思わず息をのむほど。



食用菊のヘルシーパワー

美しい花を見れば、だれもが心和むもの。菊は清楚で気品のある花ですが、「見るだけではなく」おいしくて健康食品として見直されています。市内の農家では、切り花に加え食用菊の生産も取り組んでいます。併せて、市内のグループや飲食店でもおいしい菊の食べ方の研究が進んでいます。菊ごはん、菊グラタン、菊シューまい、菊そば、酢の物などいろいろな料理に使われています。

人形はほぼ等身大ですから、一体につき約百二十株から百五十株の小菊が必要です。菊の衣裳は会期中四回から五回着せかえます。したがって期間中一体当たり約七百株、菊人形は約四十体ありますから人形菊だけでおよそ三万株い

る勘定です。

（骨格をつくる）
骨格をつくる一方、人形師の磨きのかかった腕は首を手がけます。男女の別、年齢差はもちろん、人形の性質や感情を表現するいわば魂を入れる繊細な作業です。

菊人形は生き物



人形師は鮮度を保つため、根付下絵をもとに人形づくりが始まっています。三・三センチ角の木で骨格を形どります。ただの木も人形師の手にかかるれば、血のかよった人間のように生まれ変わってきます。

（首をつくる）
骨格をつくる一方、人形師の磨きのかかった腕は首を手がけます。男女の別、年齢差はもちろん、人形の性質や感情を表現するいわば魂を入れる繊細な作業です。

菊師

（栽培）
今年の菊人形のために、園芸師は昨年から菊づくりにかかりつけられています。一年中息をつく暇もありません。



（仕上げ）
首が付けられ、完成した人形が、それぞれ舞台に立ったとき、その精彩を放った姿は、思わず息をのむほど。



菊師

（栽培）
今年の菊人形のために、園芸師は昨年から菊づくりにかかりつけられています。一年中息をつく暇もありません。



（骨格をつくる）
骨格をつくる一方、人形師の磨きのかかった腕は首を手がけます。男女の別、年齢差はもちろん、人形の性質や感情を表現するいわば魂を入れる繊細な作業です。



菊師

（栽培）
今年の菊人形のために、園芸師は昨年から菊づくりにかかりつけられています。一年中息をつく暇もありません。



（骨格をつくる）
骨格をつくる一方、人形師の磨きのかかった腕は首を手がけます。男女の別、年齢差はもちろん、人形の性質や感情を表現するいわば魂を入れる繊細な作業です。



菊師

（栽培）
今年の菊人形のために、園芸師は昨年から菊づくりにかかりつけられています。一年中息をつく暇もありません。



（骨格をつくる）
骨格をつくる一方、人形師の磨きのかかった腕は首を手がけます。男女の別、年齢差はもちろん、人形の性質や感情を表現するいわば魂を入れる繊細な作業です。



菊師

（栽培）
今年の菊人形のために、園芸師は昨年から菊づくりにかかりつけられています。一年中息をつく暇もありません。



（骨格をつくる）
骨格をつくる一方、人形師の磨きのかかった腕は首を手がけます。男女の別、年齢差はもちろん、人形の性質や感情を表現するいわば魂を入れる繊細な作業です。



菊師

（栽培）
今年の菊人形のために、園芸師は昨年から菊づくりにかかりつけられています。一年中息をつく暇もありません。



（骨格をつくる）
骨格をつくる一方、人形師の磨きのかかった腕は首を手がけます。男女の別、年齢差はもちろん、人形の性質や感情を表現するいわば魂を入れる繊細な作業です。



菊師

（栽培）
今年の菊人形のために、園芸師は昨年から菊づくりにかかりつけられています。一年中息をつく暇もありません。



（骨格をつくる）
骨格をつくる一方、人形師の磨きのかかった腕は首を手がけます。男女の別、年齢差はもちろん、人形の性質や感情を表現するいわば魂を入れる繊細な作業です。



菊師

（栽培）
今年の菊人形のために、園芸師は昨年から菊づくりにかかりつけられています。一年中息をつく暇もありません。



（骨格をつくる）
骨格をつくる一方、人形師の磨きのかかった腕は首を手がけます。男女の別、年齢差はもちろん、人形の性質や感情を表現するいわば魂を入れる繊細な作業です。



菊師

（栽培）
今年の菊人形のために、園芸師は昨年から菊づくりにかかりつけられています。一年中息をつく暇もありません。



（骨格をつくる）
骨格をつくる一方、人形師の磨きのかかった腕は首を手がけます。男女の別、年齢差はもちろん、人形の性質や感情を表現するいわば魂を入れる繊細な作業です。



菊師

（栽培）
今年の菊人形のために、園芸師は昨年から菊づくりにかかりつけられています。一年中息をつく暇もありません。



（骨格をつくる）
骨格をつくる一方、人形師の磨きのかかった腕は首を手がけます。男女の別、年齢差はもちろん、人形の性質や感情を表現するいわば魂を入れる繊細な作業です。



菊師

（栽培）
今年の菊人形のために、園芸師は昨年から菊づくりにかかりつけられています。一年中息をつく暇もありません。



（骨格をつくる）
骨格をつくる一方、人形師の磨きのかかった腕は首を手がけます。男女の別、年齢差はもちろん、人形の性質や感情を表現するいわば魂を入れる繊細な作業です。



菊師

（栽培）
今年の菊人形のために、園芸師は昨年から菊づくりにかかりつけられています。一年中息をつく暇もありません。



（骨格をつくる）
骨格をつくる一方、人形師の磨きのかかった腕は首を手がけます。男女の別、年齢差はもちろん、人形の性質や感情を表現するいわば魂を入れる繊細な作業です。



菊師

（栽培）
今年の菊人形のために、園芸師は昨年から菊づくりにかかりつけられています。一年中息をつく暇もありません。



（骨格をつくる）
骨格をつくる一方、人形師の磨きのかかった腕は首を手がけます。男女の別、年齢差はもちろん、人形の性質や感情を表現するいわば魂を入れる繊細な作業です。



菊師

（栽培）
今年の菊人形のために、園芸師は昨年から菊づくりにかかりつけられています。一年中息をつく暇もありません。



（骨格をつくる）
骨格をつくる一方、人形師の磨きのかかった腕は首を手がけます。男女の別、年齢差はもちろん、人形の性質や感情を表現するいわば魂を入れる繊細な作業です。



菊師

（栽培）
今年の菊人形のために、園芸師は昨年から菊づくりにかかりつけられています。一年中息をつく暇もありません。



越前万歳

(たけふ菊人形と菊トピアの萬歳
(たけふ菊人形四〇回と
菊のまちづくりを記念して)

(太夫) サ、これよりたけふ菊人形のめでたいところを、越前萬歳で、エッサラサンとはやしこんでおいでなさい

(才蔵) なーか、なーか、よろしこざんしょ

(太夫) エンヤー

(太夫) サ、一三〇〇年の昔から越前の國、國府とて 荣え賑わう武生には 名所や名物数あれど 武生と言えば菊人形

(才蔵) アッサーーレヤレヤレ、歴史の古い武生には 名所や名物多けれど 何といつても、菊人形じや

(太夫) サ、武生の名物菊人形今年數えて四〇回 見た人、來た人一千万 今年の目標、百万人

(才蔵) アッサーーレヤレヤレ、今年数えて四〇回 見た人来た人一千万とは、そりやまたでた結構なことじや、ヤレヤレ萬歳じや

(太夫) サ、まちをいろどる菊の花 花の薰りもふくいくと 武生のまちじゅう菊いっぽい 駅も道路も埋めつくす

多くの人に「たけふ菊人形」を知らせたい。そのため不可欠なのが宣伝活動です。

当初は、宣伝車による広報、飛行機によるビラの散布、アドバルーンを掲げたりしていましたが、時代とともに宣伝方法も変わっています。

現在は、主にメディアを利用して、テレビ、ラジオなどによる宣伝を県内外で行っています。当時の宣伝隊もなかなか苦労していたようですが、時代を追って、宣伝活動の様子について紹介します。

ボンネットバスの宣伝カーからメディア時代へ

もっと人を、もっと宣伝を

福井新聞社との共催なる

(昭和二十九年)

菊人形入場者数は、第一回十万三千七百人、第二回十二万二千七百四十四人と順調な滑り出しでした。

しかし、当時は武生市だけで主催していたため、会場の事業だけで精いっぱいの状態でした。

入場者をこれ以上増やすためには、宣伝活動をもつと充実する必要がある。また、当時の他市の菊人形を参考になると、いざれも地元新聞社が協力し

て実現しました。第三回から福井新聞社との共催

が実現しました。第三回菊人形を開くにあたって、福井新聞社は社告を出したのをはじめ、飛行機、宣伝車、広報車を

繰り出し、宣伝は一、二回に比べて非常に幅広く行いました。

可愛い手踊りで訪問

(昭和二十九年)

十月二日、三日、舞踊の「たけふ乙女会」の可愛いお嬢さんたちが福井新聞社のニュースカーに乗つて各地を訪問しました。

福井市では、福井新聞社前、駅前などの目抜き通りで「菊づくし」の曲に合わせて可愛い手踊りで、菊人形の宣伝を行いました。

浦島太郎が宣伝マンに?

(昭和二十九年)

菊人形オープン後の十月六日、菊人形を天下の菊人形にしようと、事務局では福井市をはじめ各主要都市および駅へ菊人形を送りこんで宣伝に努めました。

その第一陣として、福井市だるま屋玄関わきに、カメにまたがった浦島太郎の菊人形が飾られました。



ミス菊人形の歴史 I

(才蔵) アッサーーレヤレヤレ、武生のまちじゅう、菊いっぽい 電車もバスもフル運転 菊人形へとつめかける

(太夫) サ、精根込めて作られた菊の花はいろいろと 千輪菊に、大懸崖、大菊や小菊など ところぞせましと五千鉢

(才蔵) アッサーーレヤレヤレ、なりどりに においやかしい花くらべ 日本の心の花が咲く

(太夫) サ、奈良、平安の昔から菊は栄える國の花。代々に伝わるご紋章。和歌に俳句に菊の香りや 君子の花の氣高さよ

(才蔵) アッサーーレヤレヤレ、菊は栄える國の花。國の政治の議員さんの胸に光るも菊の花形年ごとテーマは変わるけど今年はナント太平記 南北朝の美男、美女 時代絵巻の美しさ

(才蔵) アッサーーレヤレヤレ、武生美人をそのままに おらが女房の房に似た目もと、おらが女房も日本一

(太夫) サ、街の天狗の鉢揃え鼻も高々日本一 豪華なイベン

(才蔵) サ、マダマダ (太夫) 全日本菊花大会

(太夫) 世界の菊の大展示



昭和30年代の菊人形記念たばこ



(昭和三十三年)

県内から県外へ



▲第6回 西田まさこさん 松井春美さん (昭和60年) 渡辺裕美子さん 山田佳代子さん 慶秀山美子さん



▲第5回 達川公子さん 山内由子さん 上島由美さん 西岡靖子さん 中嶋祐子さん



▲第4回 片桐由美さん 山本尚美さん 堀昌子さん 山田久子さん 坂東章子さん



▼第3回 和田佳子さん 倉内雅代さん 上島由美さん 小棹ユミさん 堀江由美恵さん



▲第2回 玉村孝子さん 橋本昌枝さん 鈴木芳枝さん 朝日優里さん 谷口通代さん



▼第1回 森本千恵子さん 岸屋泰子さん (昭和52年) 西岡希余子さん

(才蔵) サ、マダマダ

(太夫) 市民の作った菊展示

(才蔵) サ、マダマダ

(太夫) 全日本の腕比べ、菊の芸術並びます。世界の菊も尾とらじと 菊人形に花添える

(才蔵) アッサーヤレヤレ、そりやまたなんとしたえらいこつちや 世界の自慢が並ぶとは、どうでもこうでも見ておくれ

(太夫) サ、子供に入気の遊園地ビックリ仰天、バイキング天まで登る心地よさ。さてそれから観覧車

(才蔵) アッサーレヤレヤレ、そんなんもんではすみやせぬ 武生名物、物産展 大劇場では、レビューショー 歌と踊りのO・S・K ラインダンスはまぶしいのう。ドキドキ、ワクワク、こりやまた、えらいこっちゃ、お父さん。でも、見るだけではつまらんのう

(太夫) サ、食いしんぼうの、才蔵じや 食べておいしい、菊の花菊の料理もさまざまや まんじゅうに、菊グラタン、菊酒、菊そば、菊づくし 不老長寿によく効く

(才蔵) アッサーレヤレヤレ、こりやまたなんとけつこうなもんや 不老長寿によく効く 菊の花とは、ヤレヤレまざいじや

市民参加の宣伝隊

(昭和三六年)

目抜き通りにフラワー・ボックス

(昭和五〇年)

十月八日、宣伝隊は、福井市内で武生市レクリエーションクラブのメンバー約二十人による「武生踊り子の中には、この春鹿児島から集団就職したという人も混じっており、ほとんどが十代の娘さんたちでした。

一行は福井市内をパレードした後、鯖江、織田町などを巡回しました。

十月一日、たけふ菊人形を間近に控えて、会場までの幹線道路にフラワー・ボックスを置きました。商店街の協力を得て、置かれたフラワー・ボックスは千三百個。菊人形が二五周年を迎えるのを記念し、市内を菊一色で飾りつけようという目的で行ったものでした。

初代ミス菊人形に選ばれた三人（森本さん、炭屋さん、西岡さん）が宣伝隊に加わり、いつそう華やかさを増しました。この時のユニホームは、かすりの着物で、パンフレットを配ったり、商品の当たるクイズを楽しんでもらったりして、PRに一生懸命でした。

（ミスたけふ菊人形がPR）
(昭和五二年)
八月三一日、笠原市長、市議会菊人形特別委員会委員長をはじめとする宣伝隊が、国鉄武生駅を皮切りに出向宣伝を行いました。

北日野保育所では、八十人の園児に風船を配り、「お父さんやお母さんといっしょに来てくださいね」と宣伝。

宣伝隊は、菊人形オープニング近くまでに、県内外へ宣伝に行き、お楽しみクイズやボラロイド撮影、ハンカチプリントなどの企画を用意して菊人形の宣伝を行いました。

（市長も宣伝に一役）
(昭和五三年)

八月三一日、笠原市長、市議会菊人形特別委員会委員長をはじめとする宣伝隊が、国鉄武生駅を皮切りに出向宣伝を行いました。

北日野保育所では、八十人の園児に風船を配り、「お父さんやお母さんといっしょに来てくださいね」と宣伝。

宣伝隊は、菊人形オープニング近くまでに、県内外へ宣伝に行き、お楽しみクイズやボラロイド撮影、ハンカチプリントなどの企画を用意して菊人形の宣伝を行いました。

（市長も宣伝に一役）
(昭和五四年)

八月三一日、笠原市長、市議会菊人形特別委員会委員長をはじめとする宣伝隊が、国鉄武生駅を皮切りに出向宣伝を行いました。

北日野保育所では、八十人の園児に風船を配り、「お父さんやお母さんといっしょに来てくださいね」と宣伝。

宣伝隊は、菊人形オープニング近くまでに、県内外へ宣伝に行き、お楽しみクイズやボラロイド撮影、ハンカチプリントなどの企画を用意して菊人形の宣伝を行いました。

（市長も宣伝に一役）
(昭和五五年)

八月三一日、笠原市長、市議会菊人形特別委員会委員長をはじめとする宣伝隊が、国鉄武生駅を皮切りに出向宣伝を行いました。

北日野保育所では、八十人の園児に風船を配り、「お父さんやお母さんといっしょに来てくださいね」と宣伝。

宣伝隊は、菊人形オープニング近くまでに、県内外へ宣伝に行き、お楽しみクイズやボラロイド撮影、ハンカチプリントなどの企画を用意して菊人形の宣伝を行いました。

（市長も宣伝に一役）
(昭和五六年)

八月三一日、笠原市長、市議会菊人形特別委員会委員長をはじめとする宣伝隊が、国鉄武生駅を皮切りに出向宣伝を行いました。

北日野保育所では、八十人の園児に風船を配り、「お父さんやお母さんといっしょに来てくださいね」と宣伝。

宣伝隊は、菊人形オープニング近くまでに、県内外へ宣伝に行き、お楽しみクイズやボラロイド撮影、ハンカチプリントなどの企画を用意して菊人形の宣伝を行いました。

（市長も宣伝に一役）
(昭和五七年)

八月三一日、笠原市長、市議会菊人形特別委員会委員長をはじめとする宣伝隊が、国鉄武生駅を皮切りに出向宣伝を行いました。

北日野保育所では、八十人の園児に風船を配り、「お父さんやお母さんといっしょに来てくださいね」と宣伝。

宣伝隊は、菊人形オープニング近くまでに、県内外へ宣伝に行き、お楽しみクイズやボラロイド撮影、ハンカチプリントなどの企画を用意して菊人形の宣伝を行いました。

（市長も宣伝に一役）
(昭和五八年)

八月三一日、笠原市長、市議会菊人形特別委員会委員長をはじめとする宣伝隊が、国鉄武生駅を皮切りに出向宣伝を行いました。

北日野保育所では、八十人の園児に風船を配り、「お父さんやお母さんといっしょに来てくださいね」と宣伝。

宣伝隊は、菊人形オープニング近くまでに、県内外へ宣伝に行き、お楽しみクイズやボラロイド撮影、ハンカチプリントなどの企画を用意して菊人形の宣伝を行いました。

（市長も宣伝に一役）
(昭和五九年)

八月三一日、笠原市長、市議会菊人形特別委員会委員長をはじめとする宣伝隊が、国鉄武生駅を皮切りに出向宣伝を行いました。

北日野保育所では、八十人の園児に風船を配り、「お父さんやお母さんといっしょに来てくださいね」と宣伝。

宣伝隊は、菊人形オープニング近くまでに、県内外へ宣伝に行き、お楽しみクイズやボラロイド撮影、ハンカチプリントなどの企画を用意して菊人形の宣伝を行いました。

（市長も宣伝に一役）
(昭和六年)

八月三一日、笠原市長、市議会菊人形特別委員会委員長をはじめとする宣伝隊が、国鉄武生駅を皮切りに出向宣伝を行いました。

北日野保育所では、八十人の園児に風船を配り、「お父さんやお母さんといっしょに来てくださいね」と宣伝。

宣伝隊は、菊人形オープニング近くまでに、県内外へ宣伝に行き、お楽しみクイズやボラロイド撮影、ハンカチプリントなどの企画を用意して菊人形の宣伝を行いました。

（市長も宣伝に一役）
(昭和七年)

八月三一日、笠原市長、市議会菊人形特別委員会委員長をはじめとする宣伝隊が、国鉄武生駅を皮切りに出向宣伝を行いました。

北日野保育所では、八十人の園児に風船を配り、「お父さんやお母さんといっしょに来てくださいね」と宣伝。

宣伝隊は、菊人形オープニング近くまでに、県内外へ宣伝に行き、お楽しみクイズやボラロイド撮影、ハンカチプリントなどの企画を用意して菊人形の宣伝を行いました。

（市長も宣伝に一役）
(昭和八年)

八月三一日、笠原市長、市議会菊人形特別委員会委員長をはじめとする宣伝隊が、国鉄武生駅を皮切りに出向宣伝を行いました。

北日野保育所では、八十人の園児に風船を配り、「お父さんやお母さんといっしょに来てくださいね」と宣伝。

宣伝隊は、菊人形オープニング近くまでに、県内外へ宣伝に行き、お楽しみクイズやボラロイド撮影、ハンカチプリントなどの企画を用意して菊人形の宣伝を行いました。

（市長も宣伝に一役）
(昭和九年)

八月三一日、笠原市長、市議会菊人形特別委員会委員長をはじめとする宣伝隊が、国鉄武生駅を皮切りに出向宣伝を行いました。

北日野保育所では、八十人の園児に風船を配り、「お父さんやお母さんといっしょに来てくださいね」と宣伝。

宣伝隊は、菊人形オープニング近くまでに、県内外へ宣伝に行き、お楽しみクイズやボラロイド撮影、ハンカチプリントなどの企画を用意して菊人形の宣伝を行いました。

（市長も宣伝に一役）
(昭和十年)

八月三一日、笠原市長、市議会菊人形特別委員会委員長をはじめとする宣伝隊が、国鉄武生駅を皮切りに出向宣伝を行いました。

北日野保育所では、八十人の園児に風船を配り、「お父さんやお母さんといっしょに来てくださいね」と宣伝。

宣伝隊は、菊人形オープニング近くまでに、県内外へ宣伝に行き、お楽しみクイズやボラロイド撮影、ハンカチプリントなどの企画を用意して菊人形の宣伝を行いました。

（市長も宣伝に一役）
(昭和十一年)

八月三一日、笠原市長、市議会菊人形特別委員会委員長をはじめとする宣伝隊が、国鉄武生駅を皮切りに出向宣伝を行いました。

北日野保育所では、八十人の園児に風船を配り、「お父さんやお母さんといっしょに来てくださいね」と宣伝。

宣伝隊は、菊人形オープニング近くまでに、県内外へ宣伝に行き、お楽しみクイズやボラロイド撮影、ハンカチプリントなどの企画を用意して菊人形の宣伝を行いました。

（市長も宣伝に一役）
(昭和十二年)

八月三一日、笠原市長、市議会菊人形特別委員会委員長をはじめとする宣伝隊が、国鉄武生駅を皮切りに出向宣伝を行いました。

北日野保育所では、八十人の園児に風船を配り、「お父さんやお母さんといっしょに来てくださいね」と宣伝。

宣伝隊は、菊人形オープニング近くまでに、県内外へ宣伝に行き、お楽しみクイズやボラロイド撮影、ハンカチプリントなどの企画を用意して菊人形の宣伝を行いました。

（市長も宣伝に一役）
(昭和十三年)

八月三一日、笠原市長、市議会菊人形特別委員会委員長をはじめとする宣伝隊が、国鉄武生駅を皮切りに出向宣伝を行いました。

北日野保育所では、八十人の園児に風船を配り、「お父さんやお母さんといっしょに来てくださいね」と宣伝。

宣伝隊は、菊人形オープニング近くまでに、県内外へ宣伝に行き、お楽しみクイズやボラロイド撮影、ハンカチプリントなどの企画を用意して菊人形の宣伝を行いました。

（市長も宣伝に一役）
(昭和十四年)

八月三一日、笠原市長、市議会菊人形特別委員会委員長をはじめとする宣伝隊が、国鉄武生駅を皮切りに出向宣伝を行いました。

北日野保育所では、八十人の園児に風船を配り、「お父さんやお母さんといっしょに来てくださいね」と宣伝。

宣伝隊は、菊人形オープニング近くまでに、県内外へ宣伝に行き、お楽しみクイズやボラロイド撮影、ハンカチプリントなどの企画を用意して菊人形の宣伝を行いました。

（市長も宣伝に一役）
(昭和十五年)

八月三一日、笠原市長、市議会菊人形特別委員会委員長をはじめとする宣伝隊が、国鉄武生駅を皮切りに出向宣伝を行いました。

北日野保育所では、八十人の園児に風船を配り、「お父さんやお母さんといっしょに来てくださいね」と宣伝。

宣伝隊は、菊人形オープニング近くまでに、県内外へ宣伝に行き、お楽しみクイズやボラロイド撮影、ハンカチプリントなどの企画を用意して菊人形の宣伝を行いました。

（市長も宣伝に一役）
(昭和十六年)

八月三一日、笠原市長、市議会菊人形特別委員会委員長をはじめとする宣伝隊が、国鉄武生駅を皮切りに出向宣伝を行いました。

北日野保育所では、八十人の園児に風船を配り、「お父さんやお母さんといっしょに来てくださいね」と宣伝。

宣伝隊は、菊人形オープニング近くまでに、県内外へ宣伝に行き、お楽しみクイズやボラロイド撮影、ハンカチプリントなどの企画を用意して菊人形の宣伝を行いました。

（市長も宣伝に一役）
(昭和十七年)

八月三一日、笠原市長、市議会菊人形特別委員会委員長をはじめとする宣伝隊が、国鉄武生駅を皮切りに出向宣伝を行いました。

北日野保育所では、八十人の園児に風船を配り、「お父さんやお母さんといっしょに来てくださいね」と宣伝。

宣伝隊は、菊人形オープニング近くまでに、県内外へ宣伝に行き、お楽しみクイズやボラロイド撮影、ハンカチプリントなどの企画を用意して菊人形の宣伝を行いました。

（市長も宣伝に一役）
(昭和十八年)

八月三一日、笠原市長、市議会菊人形特別委員会委員長をはじめとする宣伝隊が、国鉄武生駅を皮切りに出向宣伝を行いました。

北日野保育所では、八十人の園児に風船を配り、「お父さんやお母さんといっしょに来てくださいね」と宣伝。

宣伝隊は、菊人形オープニング近くまでに、県内外へ宣伝に行き、お楽しみクイズやボラロイド撮影、ハンカチプリントなどの企画を用意して菊人形の宣伝を行いました。

（市長も宣伝に一役）
(昭和十九年)

八月三一日、笠原市長、市議会菊人形特別委員会委員長をはじめとする宣伝隊が、国鉄武生駅を皮切りに出向宣伝を行いました。

北日野保育所では、八十人の園児に風船を配り、「お父さんやお母さんといっしょに来てくださいね」と宣伝。

宣伝隊は、菊人形オープニング近くまでに、県内外へ宣伝に行き、お楽しみクイズやボラロイド撮影、ハンカチプリントなどの企画を用意して菊人形の宣伝を行いました。

（市長も宣伝に一役）
(昭和二十年)

八月三一日、笠原市長、市議会菊人形特別委員会委員長をはじめとする宣伝隊が、国鉄武生駅を皮切りに出向宣伝を行いました。

北日野保育所では、八十人の園児に風船を配り、「お父さんやお母さんといっしょに来てくださいね」と宣伝。

宣伝隊は、菊人形オープニング近くまでに、県内外へ宣伝に行き、お楽しみクイズやボラロイド撮影、ハンカチプリントなどの企画を用意して菊人形の宣伝を行いました。

（市長も宣伝に一役）
(昭和二十二

覚えていますか

懐かしいあの場面

第一回(昭和一七年)



- 一、車引
- 二、龍門寺信長觀菊の宴
- 三、佐賀の怪猫
- 四、文覚上人
- 五、大江山
- 六、阿古屋の琴責め
- 七、越前小鍛治
- 八、文福茶釜

見流館面積
一八〇坪

第六回(昭和三二年)

「古今名作繪巻」

第八回(昭和二十四年)

「太平樂」

- 一、太平樂
- 二、北野の茶会
- 三、那須の大八
- 四、神崎与五郎
- 五、勿來の関
- 六、どんぐりころころ
- 七、矢矧橋
- 八、汽車ポッポ

第九回(昭和二十五年)

「大江山酒香童子」

- 一、しあわせの日
- 二、道長の乱脈
- 三、怒りの若武者
- 四、大江山に来た男
- 五、鍔鳴る太刀
- 六、一条戻り橋
- 七、綱の館
- 八、土蜘蛛

第十回(昭和三六年)

「歴史名場面集」

- 一、蝶々婦人
- 二、壇ノ浦の合戦
- 三、司馬温公
- 四、金魚のひるね
- 五、佐々木小次郎
- 六、日蓮上人浪題目
- 七、左甚五郎
- 八、山寺の和尚さん
- 九、牛若丸(五条の大蛇)

第十一回(昭和三七年)

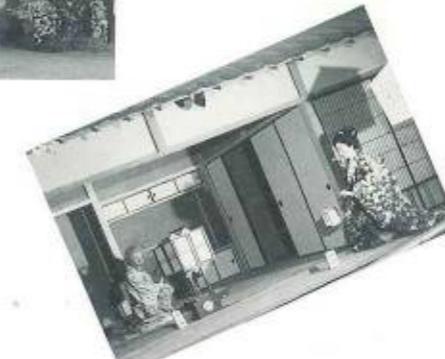
「歴史名場面集」

- 一、紫式部
- 二、国姓爺合戦
- 三、平治の乱
- 四、八岐の大蛇
- 五、壺坂靈験記
- 六、蒙古襲来
- 七、北の庄

第十二回(昭和三八年)

「お国自慢シリーズ」

- 一、祇園祭(京都)
- 二、沖縄おどり(沖縄)
- 三、阿波おどり(四国)
- 四、河内音頭(大阪)
- 五、加賀百万石祭(石川)
- 六、佐渡の鬼太鼓(新潟)
- 七、江戸の華(東京)
- 八、アイヌの熊祭(北海道)
- 九、伊賀の忍術(三重)



第二回(昭和一八年)

「牛にひかれて善光寺詣

- 一、加藤清正
- 二、たぬきばやし
- 三、吉崎の嫁おどし
- 四、鉢の木
- 五、国定忠治
- 六、お猿のかごや
- 七、森の石松
- 八、小判鮫
- 九、白鳥の湖
- 一〇、鯉つかみ

「月形半平太

「楊貴妃」

「見てござる」

「那須余市」

「宮本武蔵」

「安土城の謁見」

「連獅子」

「石童丸」

「櫻門五三桐」

「羅生門」

「孫悟空」

「桃太郎」

「滝の白糸」

「二宮金次郎」

「通りやんせ」

「保元の乱」

「御前角力」

「金闇寺」

第四回(昭和三十一年)

「大坂夏の陣」

「一寸法師」

「養老の滝」

「水戸黄門」

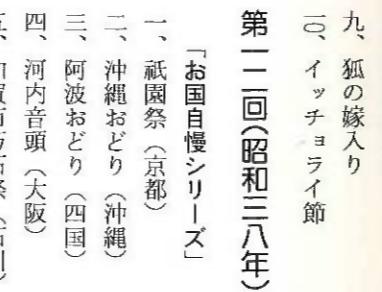
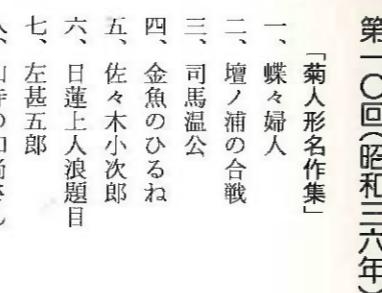
「可憐い魚屋さん」

「三人奴」

「俊寛」

「安宅の関」

「大坂夏の陣」



第三回(昭和一九年)

「醸醜の花見」

「佐倉義民伝」

「花咲爺」

「福井の殿様お国入り」

「寺田屋騒動」

「浅茅ヶ原の一つ家」

「七義士の討入り」

「白鷺の湖」

「鯉つかみ」

「自雷也」

「白鷺の湖」

「安宅の関」

「三人奴」

「俊寛」

「大坂夏の陣」

「安宅の関」

「三人奴」

「俊寛」

「大坂夏の陣」

第四回(昭和二一年)

「牛にひかれて善光寺詣」

「四谷怪談」

「月形半平太」

「楊貴妃」

「見てござる」

「那須余市」

「宮本武蔵」

「安土城の謁見」

「連獅子」

「石童丸」

「櫻門五三桐」

「羅生門」

「孫悟空」

「桃太郎」

「滝の白糸」

「二宮金次郎」

「通りやんせ」

「保元の乱」

「御前角力」

「金闇寺」

第五回(昭和二二年)

「歴史名場面集」

「蝶々婦人」

「壇ノ浦の合戦」

「司馬温公」

「金魚のひるね」

「佐々木小次郎」

「日蓮上人浪題目」

「左甚五郎」

「山寺の和尚さん」

「牛若丸(五条の大蛇)」

「蒙古襲来」

「北の庄」

第六回(昭和二三年)

「太平樂」

「北野の茶会」

「那須の大八」

「神崎与五郎」

「勿來の関」

「どんぐりころころ」

「矢矧橋」

「汽車ポッポ」

「源氏物語」

「新田義貞」

「羽衣」

「暫」

「阿國歌舞伎」

「里見八犬伝」

「大薗三郎」

「阿國歌舞伎」

「勝家とお市の方」

「のゑ女」

「新吾十番勝負」

「潜水王」

第七回(昭和二四年)

「太平樂」

「北野の茶会」

「那須の大八」

「神崎与五郎」

「勿來の関」

「どんぐりころころ」

「矢矧橋」

「汽車ポッポ」

「源氏物語」

「新田義貞」

「羽衣」

「暫」

「阿國歌舞伎」

「里見八犬伝」

「大薗三郎」

「阿國歌舞伎」

「勝家とお市の方」

「のゑ女」

「新吾十番勝負」

「潜水王」

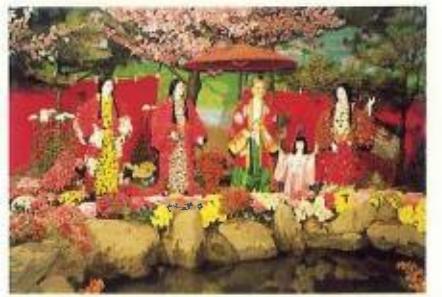
第八回(昭和二十四年)

「太平樂」

「北野の茶会」

「那須の大八」

見流館



- NHK大河ドラマ 「花神」**
- 一、碧眼の女
 - 二、黒船建造
 - 三、安政の大獄
 - 四、寺田屋騒動
 - 五、にわかぼうず
 - 六、焼打ち
 - 七、卿都落ち
 - 八、蛤御門の変
 - 九、洋行と亡命
 - 十、薩長秘密同盟
 - 十一、四境戦争
 - 十二、彰義隊
 - 十三、暗殺

- NHK大河ドラマ 「黄金の日日」**
- 一、ト派・タカ派
 - 二、フロイス入京
 - 三、大逆転
 - 四、脱出
 - 五、異人行列
 - 六、美緒の結婚
 - 七、名物狩り
 - 八、船出
 - 九、信長横死
 - 十、慢する月
 - 十一、バテレン追放
 - 十二、利休切腹

- NHK大河ドラマ 「おんな太閤記」**
- 一、出会い
 - 二、城主の妻
 - 三、名譽ある茶会
 - 四、運命の道
 - 五、落城の悲劇（北の庄落城）
 - 六、王者の妻「北政所」
 - 七、政略結婚
 - 八、聚楽第
 - 九、豊臣家の母
 - 十、不吉な予感
 - 十一、醍醐の花見
 - 十二、秀吉の死の波紋
 - 十三、関ヶ原の戦い
 - 十四、豊臣家の終焉

- NHK大河ドラマ 「峠の群像」**
- 一、高田馬場の決闘
 - 二、赤穂浅野家
 - 三、出会い
 - 四、水戸光圀と將軍綱吉
 - 五、松山城接收
 - 六、松の廊下
 - 七、悲報、赤穂へ
 - 八、それぞれの道
 - 九、内蔵助と妻
 - 十、決意
 - 十一、討入りⅠ
 - 十二、祇園の内蔵助
 - 十三、討入りⅡ
 - 十四、大願成就

- NHK大河ドラマ 「独眼流政宗」**
- 一、独眼流政宗
 - 二、政宗誕生
 - 三、虎哉禪師
 - 四、めごとねこ
 - 五、輝宗無残
 - 六、人取橋の合戦
 - 七、決戦・摺上原
 - 八、小田原参陣
 - 九、黄金の十字架
 - 十、伊達者
 - 十一、秀次謀反
 - 十二、関ヶ原

- NHK大河ドラマ 「武田信玄」**
- 一、晴信をめぐる女性たち
 - 二、父と子の確執
 - 三、武田軍議
 - 四、晴信と湖衣姫
 - 五、女のいくさ
 - 六、国造り
 - 七、天才と秀才
 - 八、三国同盟
 - 九、越後の虎
 - 十、激突（啄木鳥の戦法）
 - 十一、激突（川中島）
 - 十二、（一騎討ち）
 - 十三、三方ヶ原の戦い
 - 十四、はるかなる京への道

- NHK大河ドラマ 「草燃える」**
- 一、頼朝の挙兵
 - 二、政子の恋
 - 三、再起への道
 - 四、鎌倉の春
 - 五、稚い恋
 - 六、壇ノ浦合戦
 - 七、逃亡者たち
 - 八、母と子の亀裂
 - 九、二代将軍頼家
 - 十、不肖の子
 - 十一、都好み
 - 十二、幻の船
 - 十三、実朝暗殺
 - 十四、承久の乱

- NHK大河ドラマ 「獅子の時代」**
- 一、パリ万国博覧会
 - 二、追跡
 - 三、暗雲の日本
 - 四、鶴ヶ城落城
 - 五、五稜郭戦争
 - 六、光と影
 - 七、下北半島 斗南藩
 - 八、東京の日々
 - 九、西南戦争
 - 十、自由自治元年

- NHK新大型時代劇 「宮本武蔵」**
- 一、姫路城天守閣
 - 二、老杉の武蔵
 - 三、滝壺離
 - 四、一乗寺下り松の決闘
 - 五、夢想權之助との決闘
 - 六、晒屋の蝶
 - 七、父母思重絆
 - 八、巖流 佐々木小次郎
 - 九、開眼 二刀流
 - 十、宍戸梅軒との対決
 - 十一、榮達の門

- NHK新大型時代劇 「武蔵坊弁慶」**
- 一、義経との出逢い
 - 二、書写山炎上
 - 三、玉虫との再会
 - 四、鞍馬の牛若
 - 五、兄弟対面
 - 六、旭将軍
 - 七、一の谷合戦
 - 八、屋島の戦い
 - 九、平家滅亡

- NHK新大型時代劇 「武蔵坊弁慶」**
- 一、義経との出逢い
 - 二、書写山炎上
 - 三、玉虫との再会
 - 四、鞍馬の牛若
 - 五、兄弟対面
 - 六、旭将軍
 - 七、一の谷合戦
 - 八、屋島の戦い
 - 九、平家滅亡

- NHK新大型時代劇 「真田太平記」**
- 一、別れ
 - 二、出陣
 - 三、一家団らん
 - 四、真柄十郎左衛門の最期
 - 五、三方ヶ原の戦い
 - 六、鳥居強右衛門の最期
 - 七、武田氏滅亡
 - 八、本能寺の変
 - 九、和議
 - 十、関白義弟
 - 十一、朝鮮国撤退
 - 十二、関ヶ原の戦い
 - 十三、方広寺鐘銘事件
 - 十四、堂々の生涯
 - 十五、夏の陣
 - 十六、幸村の最期
 - 十七、松代への国替
 - 十八、南無觀世音菩薩
 - 十九、別離
 - 二十、巖流島の決闘

第三八回(平成元年)

NHK大河ドラマ

「春日局」

一、乳母 愛の鞭

二、父の出陣

三、天下取り

四、母子無情

五、嫁ぐ

六、関ヶ原前夜

七、戦後の家族

八、乳母の条件

九、世継ぎ誕生

三、徳川三百年の礎成る

第二十九回(平成一年)

NHK大河ドラマ

「翔ぶが如く」

一、斉彬と篤姫

二、斉彬と西郷

三、泣こか翔ばかい

四、江戸に入りに御座候

五、駕籠の先棒をかつぐ

六、暗転—錦江湾

七、愛加那と西郷

八、薩長同盟

九、鳥羽、伏見の戦い

三、江戸城開城

二、白虎隊

三、国に帰った西郷

三、西南戦争(田原坂の悲劇)

第四〇回(平成二年)

NHK大河ドラマ

「太平記」

一、平氏の大

四、高氏拳兵

五、建武の新政

六、湊川の戦い

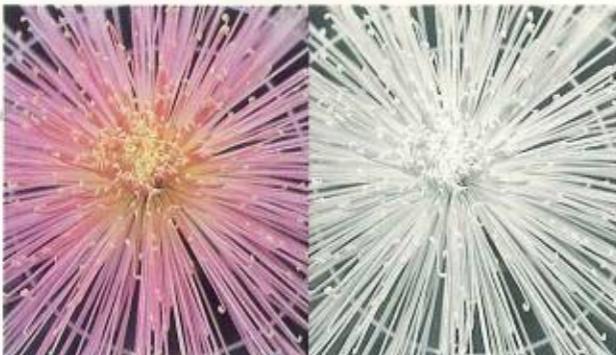
七、南北朝時代

八、骨肉の争い

九、花開く室町文化

二、遊芸の時代

三、西南戦争(田原坂の悲劇)



菊人形40回記念誌

資料提供者(敬称略・順不同)

前沢 和義 あおば町

林 律夫 京町二丁目

福岡 昭三 北府四丁目

和田 雅雄 村国二丁目

脇坂 章 敦賀市

加賀 次男(故人) 国府二丁目

斎藤 幾一 京町一丁目

島田 清 南三丁目

宮脇 豊三 北千福町

高森 ふさゑ 蓬萊町

前田字右エ門 北町

近藤 一郎 北府三丁目

西山 幸信 住吉町

加藤 秀徳 柳町

平成3年10月発行

発行 武生市 〒915 福井県武生市府中一丁目13-7

☎ 0778(22)3000



▲きくっぴー(菊トピアキャラクター)



▼菊のふるさとトーク



▲古タイヤを使ったプランター

武生市は、千三百年もの昔国府がおかれ、越の国の中心として栄え、今も歴史の深い重厚な文化を、街の随所に感じることができます。現在の武生市は、人口七万人を擁し、工業出荷額は四千億円を超える、県内トップクラスの工業都市に成長しました。

他に類を見ない、伝統文化とハイテク産業が調和する武生市に、新しい文化が育つあります。市民参加に重点を置き、環境・福祉・教育といった既存の行政枠を取り払ったまちづくりを、文化として取り組もうというのが「菊トピア」事業です。

まちを歩けば
さりげなくそこに花
菊の街づくり

「潤いのある美しいまちを、市民と行政が一つになって創造しようと、まちを花でいっぱいにして、個人・町内会・団体・グループなどが環境をグローバルに捕えた活動を始めました。」

**発進する
菊のまちづくり
「菊トピア」武生**



まちに花、ひとに夢。
菊トピア
菊のまち、たけふ

菊トピアが、これから長い歴史の洗礼を受けながら、必要とされる「文化」として進化させるための鍵は、市民参加以外にありません。

「まちに花、人に夢」、四十年前の先人たちの苦労と発想を基に、今新たなまちづくりが歩みだしました。

菊のまちとしての全国へのイメージ定着と、産業に成長させるための戦略として、市内の農家では「菊の総合産地化」への挑戦が始まっています。

鑑賞用菊としての切り花、鉢植え菊、そして食用菊の栽培です。行政は、菊栽培に関する技術の集積を図るため、菊センターを作り菊苗の提供や技術指導などに向けた研究に取り組んでいます。

見て楽しんでもらう菊
味わつてもらう菊
菊の総合産地化へ向けて

菊のまちとしての全国へのイメージ定着と、産業に成長させるための戦略として、市内の農家では「菊の総合産地化」への挑戦が始まっています。

鑑賞用菊としての切り花、鉢植え菊、そして食用菊の栽培です。行政は、菊栽培に関する技術の集積を図るため、菊センターを作り菊苗の提供や技術指導などに向けた研究に取り組んでいます。